

I 校区の状況

日本で2番目に広い村が猿払村です。拓心中学校は、役場所在地である鬼志別地区にあります。

本校は、1985年（昭和60年）に、浜猿払中学校、鬼志別中学校、知来別中学校の統廃合の末、村唯一の中学校として誕生しました。

校下には4小学校（鬼志別小・知来別小・浜鬼志別小・浅茅野小）があります。校区が非常に広いため、およそ6割の生徒がバス通学をしています。

村の基幹産業は酪農業及び水産業です。一次産業とそれに関連する事業に従事する方が多い村です。

III 生徒・教職員

【生徒在籍状況】

	鬼志別	浜鬼志別	知来別	浜猿払	浅茅野	芦野	合計
1年	14	3	10	4	4	0	35
2年	12	6	1	0	0	0	19
3年	5	7	7	2	1	0	22
合計	31	16	18	6	5	0	76

【教職員】

職名	氏名	担任	教科	分掌	部活動
校長	大谷 智昭				
教頭	古川 正史			総務	
	吉田 拓矢	1年担任	理科	研究	バドミントン
	土岐 雄二	1年副担任	保健体育	生徒指導	野球
	児玉 麗楽	1年副担任	美術	研究	バレー
	佐々木 悠	特支担任	音楽	生徒指導	文化
	蛇澤 美空	特支担任	全般	研究	バドミントン
	高橋 美鈴	2年担任	英語	教務	文化
	伊藤 努	2年副担任	数学	教務	バドミントン
	上田 雄大	特支担任	全般	生徒指導	バレー
	大内 明莉	3年担任	社会	研究	剣道
	田辺 佳太	3年副担任	国語	教務	野球
	中島 祐貴	特支担任	全般	教務	剣道
	柳浦健太朗	特支担任	全般	生徒指導	野球
養護教諭	八百谷祥子				
事務職員	中川 勇			事務	
ALT	ヴァンダーウェル・ブルックリン・ニコル				
公務補	久保 孝行				

【担当校外班】

校外班	鬼志別	高橋、大内、柳浦、佐々木、蛇澤、中川
	浜鬼志別	上田、児玉、伊藤
	知来別	土岐、八百谷、田辺
	浅茅野	吉田、中島

II 猿払村の特色



【猿払村の基本理念】

「心豊かでステキな人がいる村」
猿払村の東はオホーツク海の海岸線、西は丘陵性山地を境に豊富町、南は幌延町、浜頓別町、北は稚内市に隣接しています。村としては北海道で一番広く、総面積の約8割が山林や原野であり、手つかずの自然がたくさん残っています。

猿払（サルフツ）の語源はアイヌ語の「サロプト」「サラブツ」から転化したもので『葦（芦）川口』『葦（芦）原の河口』を意味しています。

猿払村の天然ほたて貝の水揚量は、日本一を誇るまでに安定成長を重ね、毛ガニやサケ、マスと同様にオホーツク海の大自然の恩恵を受けた「さるふつブランド」として有名です。また、漁業と並んで村の2大基幹産業としての酪農業の地位が確立されています。海の幸、山の幸、牛乳、肉などに恵まれた村です。

（猿払村役場HPより）



IV 主な行事

年度初め休業、着任式・始業式、入学式、1年生を迎える会、全学年学力テスト、PTA三役会、全国学力・学習状況調査、参観日・PTA総会・学級懇談会、夏季日課開始、生徒総会

保護者面談、学校運営協議会、1年宿泊研修、修学旅行
避難訓練、部活動保護者会議

Q-U検査、宗谷地区中体連陸上・柔道・剣道大会、赤ちゃん抱っこ体験、定期テスト

宗谷地区中体連球技大会、3年第三者面談、参観日・懇談会、1学期終業式、夏季休業

夏季休業、学校閉庁日、始業式

体育祭、2年防災学校、村P連研究大会、2年職場体験、3年学力テスト、避難訓練、定期テスト、学校運営協議会、英語検定

英語IBAテスト、3年学力テスト、学校祭、漢字検定、冬季日課開始、3年保育実習、猿払村教育研究大会

村文化祭、管内PTA研究大会、Q-U検査、全学年学力テスト、生徒会役員選挙、3年第三者面談、定期テスト

3年学力テスト、3年薬物乱用防止教室、開校記念日、生徒総会、終業式、冬季休業、学校閉庁日

冬季休業、冬の学習講座、始業式、3年学年末テスト、英語検定、3年参観日・懇談会

全学年学力テスト、公立高推薦入試、新入生説明会、私立高入試、1・2年学年末テスト、1・2年参観日・懇談会、漢字検定

PTA三役会、公立高入試、3年生を送る会、卒業式
1・2年学年末面談、修了式・離任式、年度末休業

V 開校・沿革

昭和22年、戦後の学制改革により、自治体、地域住民の熱意と努力によって、鬼志別中学校、その分校として知来別中学校、浅茅野中学校、浜猿払中学校が設立されました。

その後、産業経済の発展とともに開拓入植、炭鉱開発との関係もあって、上猿払中学校、石炭別中学校、狩別中学校、小石中学校が次々と新設されました。

昭和40年頃から、地場産業の衰退と激しい過疎化現象によって、児童生徒の激減が起こり、学校の統廃合を余儀なくされました。相次ぐ統廃合の結果、残った鬼志別中学校、知来別中学校、浅茅野中学校を統合し、昭和60年4月、村唯一の中学校となる拓心中学校が新設されました。開校当時の生徒数は150名でした。

屋内体育館の完成を待ち、同年12月8日に校舎並びに体育館の落成式が行われ、この日を開校記念日としました。

昭和60年4月	開校式
12月	校舎・体育館落成式典
61年12月	開校記念日制定（12月8日）
63年5月	グランド開き
平成元年6月	管内教育研究集会
8月	全国子育て研究大会どろんこ広場
3年7月	オジョルスキイ村交流（～16年）
6年12月	開校10周年記念式典
17年11月	アスベスト除去工事
18年4月	二期制開始（～令和元年）
19年3月	校舎大改修工事終了
23年8月	オジョルスキイ交流（～27年）
26年11月	開校30周年記念
令和2年2月	新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業・分散登校
令和3年度	新型コロナウイルス感染症への対応
令和4年度	新型コロナウイルス感染症への対応



開校当時の学校

VI 校章

朔北の厳しい自然の中、嘗々として猿払村を築き上げてこられた先人の開拓魂を受け継ぎ、郷土の開拓・発展と己の心を切り開く意を「拓」の文字に託し、それを向学の意を込めた「ペン」と「猿払の自然」で包み込みました。緑は「豊かな牧野」を、青は「恵みのオホーツク海」を象徴しており、外枠の形は未来へのはばきを意味しています。（江川千恵子教諭 作成）



【村内中学校の歴史】

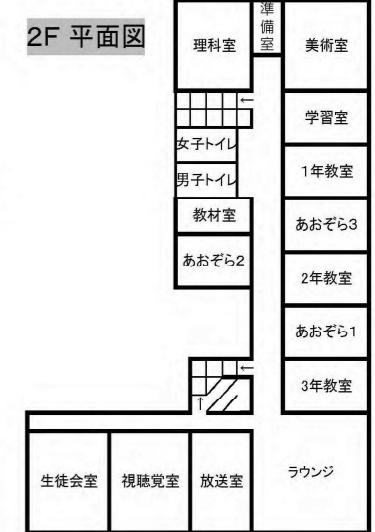
鬼志別中学校	昭和22～60	拓心中学校へ
知来別中学校	//	//
浅茅野中学校	//	//
浜猿払中学校	昭和22～58	鬼志別中学校へ
上猿払中学校	昭和26～42	浅茅野中学校へ
石炭別中学校	昭和27～41	上猿払中学校へ
狩別中学校	昭和28～51	浜猿払中学校へ
小石中学校	昭和36～48	鬼志別中学校へ
拓心中学校	昭和60～	

VIII 校舎平面図

1F 平面図



2F 平面図



【授業日数】

1年	2年	3年
205	196	
15:25～15:55		
13:00～13:15		
13:20～14:10		
14:20～15:10		
15:10～15:25		
15:25～15:30		
15:30		
15:30～16:15		
16:15～16:30		
16:30		
15:45		
夏 18:00		
冬 17:15		

1学期始業式・入学式（4/6）